

佐藤来夢は球体関節人形の形式を通じて、身体の造形とその見え方をめぐる問いに取り組む。創作球体関節人形の制作から出発し、人体への関心から東京造形大学で彫刻を学び、さらに医学部解剖学講座での研究へと実践を展開してきた。この横断のなかで、人形は比喻ではなく方法として機能する。身体の構造を可視化し、人体そのものでは問うことのできない存在感を浮かび上がらせるための形式として。

生命を模すためではなく、佐藤は人形という形式に固有の問いを静かに組み立て続けている。



Arika (Where One Belongs) , 2025



Geppaku no Shiro (Moonwhite Castle) ,
2023

アーティスト・ステートメント

佐藤来夢は、人形制作を通じて人間の身体と向き合っている。その実践は、比喻や象徴としての身体表現に端を発するものではない。球体関節人形の制作技法を独学で習得するなかで、身体がいかにして組み立てられ、つなぎとめられているかという問いが立ち上がり、それが制作の起点となった。人体への関心はやがて東京造形大学での彫刻の訓練、さらに医学部解剖学講座での研究へと展開し、創作人形・彫刻・解剖学を横断する現在の実践が形づくられた。

作品は明確に「人形」としての構造を現前とさせる。球状の露出した関節は組み立てられた体を示す。表面は生命感の再現を目指すものではなく、石粉粘土による硬質な身体に油彩を施すことで、ひとつの身体が完成に至った時点を定着させている。物語的なポーズは与えられず、像は直立し、静止する。そこにあるのは、構築のプロセスが可読な身体——可視化された接点によって組み立てられ、維持されている構造そのものである。

佐藤の制作には、従来の人形スケールによる作品群と、作家自身の身体を解剖学的精度で再現した等身大の作品とがある。人形スケールの作品では、頭部の強調や身体各部の比率の操作といった造形的判断が人形という形式に固有の身体の見え方を生み出す。一方、等身大の作品では、歪曲を排した精密な複製が、人体と人形のあいだの距離を極限まで狭める。この二つの系列の往還が、佐藤の実践に固有の問いの幅をつくり出している。

脆さは、この実践を貫くひとつの主題である。関節や接続部は、可動を可能にすると同時に、構造的な弱点でもある。この物理的な脆さは、人形の構造において隠されることなくそのまま現れ、物質的な身

体を持ち、他者や社会との関係のなかに置かれ続けることで生じる、より広い意味での不安定さとも重なり合う。球体関節人形という構造が、これら二つの次元を同じ場所に引き寄せる。

佐藤の作品は、人間の代替でも象徴でもない。組み立てられ、接合され、立っている。その構造的な明晰さを通じて、身体が成り立つとはどういうことかを問い続けている。

経歴

2000年静岡県生まれ。創作人形、彫刻、解剖学を横断し、人形という形式を通じて身体の造形とその見えをめぐる問いに取り組む。人形として構想された作品では頭部を強調した約6頭身のプロポーションを、解剖学的精度に基づく等身大の作品では作家自身の9頭身を正確に再現し、この歪曲と精密な複製の往還が、人体そのものでは直接問うことのできない存在論的な違和を生み出す。2023年より順天堂大学医学部解剖学講座に特別研究生として在籍するとともに、美術解剖学の教育・普及を目的とする団体「アナトミー・チュートリアルズ」に参加。

CV

学歴

-
- 2023 東京造形大学 彫刻専攻 卒業
東京造形大学 大学院 美術研究領域 入学
 - 2025 東京造形大学 大学院 美術研究領域 修了

個展

-
- 2025 『Still Life with Innocence』, aaploit, 東京

展示歴 (抜粋)

-
- 2024 『ANATOMICAL ROOM』, ギャラリー・ルヴァン, 東京
『「間～あわい～」 創作人形3人展』, キチジヨウジギャラリー, 東京
 - 2023 『in view』, ギャラリーいちょうの木, 東京
『ハイカラ～モダンボーイ&モダンガール展』, 藤野美術館, 兵庫
『生まれては消えるもの』, gallery hydrangea, 東京
 - 2022 『金魚たちの見る夢は2022』, コルメキッサ, 神奈川
『空想癖』, コルメキッサ, 神奈川
 - 2021 『for you, ...&for me』, コルメキッサ, 神奈川
『金魚たちの見る夢は』, コルメキッサ, 神奈川
『自分の部屋に聖域を～My sanctuary～』, コルメキッサ, 神奈川

2020 『夢見る少女たち』, ミ・アモーレgallery, 東京

受賞

2025 Tokyo No.1 Doll 優勝

アートフェア

2025 Incheon Art Show 2025, 仁川, 韓国 (aaploit)

aaploit

〒112-0014 東京都文京区関口1-21-17 TMKビル2F

info@aaploit.com



作品をもっと見る

<https://works.aaploit.com/ja/artists/sato-raimu>

著作権・利用条件

© 2026 佐藤 来夢 and aaploit

本資料に含まれるすべての作品、画像、テキストは著作権で保護されており、アーティストおよびaaploitに帰属します。

ポートフォリオ・高解像度画像

出版、研究、キュレーション目的での包括的なポートフォリオおよび高解像度画像ファイルは、ご要望に応じてご提供いたします。お問い合わせは下記まで: info@aaploit.com

許可される利用:

- 批評、教育、ジャーナリズム目的での短い引用・抜粋。
- 適切なクレジット表記を伴う複製: "佐藤 来夢、courtesy of the artist and aaploit"

禁止される利用:

- 書面による許可のない商業目的での複製。
- 画像またはテキストの改変。
- アーティストの作品や意図を誤って伝える複製。

最終更新日: 2026年2月10日